

# 土木技術者としての第一歩

## — 1級土木施工管理技士 —

### 1. 受験の動機・経緯

監督職員として現場をいくつか担当してみると、主任技術者あるいは監理技術者の方のほとんどが「1級土木施工管理技士」を有していることに気づかされます。発注者側の監督職員という立場でありながら自分は無資格であり、資格を有する現場監督の方に指示することはどうしても負い目を感じることはありませんでした。そのような理由もあり、これから先、施工管理に携わる技術者としていつかは取るべき資格として意識するようになっていました。しかしながら、日常業務の多忙を理由に受験資格要件を満たしながらも受験申込まで勢いがつかず、2年、3年と経過していたところでした。そんな中、同期入庁の同僚が「1級土木施工管理技士」を受験するとの話を聞き、先にとられるわけにはいかないとの思いが芽生え、不純ながらそれが受験を決意する大きなきっかけとなりました。

### 2. 学科試験における留意点や学習のポイント

学科試験は四肢択一式問題となっており、選択問題と必須問題に分かれています。全体の60%以上の得点が合格基準とされています。

まず、最近の試験の傾向を知るために参考書を用意しました。ここ数年の出題形式や傾向はほとんど変化がないことから、あとは参考書を信じて出題分野ひとつひとつを学習しました。必須問題についてはひとつおとり学習を進めましたが、選択問題の専門土木の分野に関しては経験のない工種の学習には時間を要することから

目を通すぐらいに留めて、日ごろ経験している工種については取りこぼしがないように重点的に学習しました。

実地試験では語句の挿入問題が出題されることから重要と思われるキーワードはノートに書くことで語句の引き出しを増やすことも心掛けました。

試験当日はまったく経験のない工種でも問題文を読んでも明らかに正解がわかるような一般常識的な問題がある可能性がありますので、あきらめることなくすべての問題に目を通し、より自信のある解答を選択するよう心がけると良いかと思います。

### 3. 実地試験における留意点や学習のポイント

実地試験は経験記述論文と計10問から6問を選択する記述問題から構成されます。こちらも全体の60%以上の得点が合格基準とされています。

経験記述論文は例年、施工管理に関するあるテーマについての「技術的課題、検討理由・検討内容、対応処置」を問われるものとなっています。なんといってもこの経験記述論文の事前準備ができていないかで試験当日の出来は大きく変わるものと思います。私は1つの工事で複数のテーマについて書けるよう過去担当した工事の打合せ記録等を見返しながら工事を選定しました。自分が監督職員として経験したことでありながら、それを相手にわかりやすく具体的な文章にすることは想像以上に

難しく、自分の語彙力のなさに四苦八苦しなから解答案を作成したのを思い出します。過去の出題傾向から「工程管理、安全管理、品質（出来形）管理、施工計画」については最低でも事前に解答案を準備しておくべきでしょう。当日の試験も時間に余裕を持って取り組むことができると思います。

選択記述問題は語句あるいは箇条書きで解答する設問となっており、より正確に覚えておく必要があります。私は学科試験同様に実地試験用の参考書を1冊購入し勉強しました。過去の傾向を見ると土工及びコンクリートの施工管理に関する問題が数多く出題されていることからその分野を重点的に学習しました。学科試験と重複する部分が多いので、学科試験の勉強を始める前に実地試験の問題傾向を掴んでおくことでより効率的に学習ができると思います。

#### 4. 受験者へのアドバイス、注意点、励まし等

資格取得のためにしなければならない勉強はどの試験でも必要ですが、この資格に関しては日頃の建設行政で培われる経験や知識が試験問題として出題されることが多く、大いに活かされることから比較的短い学習時間で資格取得を目指せると思います。これから技術者としてスキルアップしていくための足がかりとして1級土木施工管理技士を受験してみたいと思います。



山形県 南陽市 建設課 土木係  
技師

こまつ なおと  
小松 直人

（取得した資格：1級土木施工管理技士）  
資格取得年度：平成28年度

ようか。

今回は同僚と一緒に受験することを決めたことから、自分だけ落とすわけにはいかないといったモチベーションを最後まで保つことができました。同じ志をもった身近な人と一緒に受験することも確実な資格取得への近道になると思います。

資格を取得したあとも相変わらず現場では現場監督の方々から助言をもらいながら解決策を模索する日々が続いていますが、「建設行政マンとしてより良いものを造りたい。」との思いで資格取得を目指し、取得できたことはこれからの技術者人生の自信に繋がっていくと感じています。

詰 碁

黒 先

出題 土井 誠 八段

〔ヒント〕  
簡単そうに見えますが、  
落とし穴があるのでご用心！

〔あなたの棋力は？〕  
5分……………初段

（解答は49頁）

詰 将 棋

出題 石田 和雄 九段

〔ヒント〕  
合駒にも注意してください。

〔あなたの棋力は？〕  
5分……………二段  
10分……………初段

（解答は49頁）